

記入上の注意

1. 履歴書（様式2）

- (1) 「学歴」の欄には、高等学校卒業以降（高等学校卒業を含む）の学歴、学位、称号等に関する事項を記入すること。
- (2) 「職歴」の欄には、職歴のすべてについて記入し、職名、地位等についても明記すること。
- (3) 「学会及び社会における活動等」の欄には、本人の専攻、研究分野等に関連した事項について記入すること。また、教育研究上の業績を有する場合は、その内容を具体的に記入すること。
- (4) 「賞罰」の欄には、その有無を必ず明記すること。

2. 研究業績目録（様式3）

- (1) 記載欄には、原著、著書及びその他の順に、それぞれ年月順に、番号を付して記入すること。（発行又は発表が予定されているものを含む。）

3. 教育業績書（様式4）

- (1) 「教育上の能力に関する事項」欄について
 - ① 「1 教育方法の実践例」の欄には、次の項目を記入すること。
 - ・優れた教育方法の実践例（英語による授業、少人数教育、小テスト・レポートによる持続的教育、問題発見・課題解決型授業の実施等）
 - ・マルチメディア機器を活用した授業方法（コンピュータ、ビデオ、スライド等の視聴覚教材を活用し理解を深める等の取組み）
 - ・学生の授業外における学習促進のための取組み（授業に関するアンケートの利用（講義、実習評価結果の活用）、シラバス等の工夫等）
 - ② 「2 作成した教科書、教材」の欄には、次の項目を記入すること。
 - ・作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書等の概要や利用方法
 - ③ 「3 教育上の能力に関する大学等の評価」の欄には、次の項目を記入すること。
 - ・各大学等での自己点検・評価の一環として、教育面で高い評価を受けた事実（その事由と評価内容）
 - ・採用決定の際等における教育上の能力に関する評価
 - ・上記以外で学長、研究科長、同僚、諸機関等が行った評価（客観性を持ったものについて記載）
 - ④ 「4 その他の特記事項」の欄には、次の項目を記入すること。
 - ・大学教育改善に関する団体等での活動（他大学における教育研究実績、企業等での研修協力、学内外における大学教育改善等に関する委員の実績）等

- ・専門分野における実務経験に関連した教育的実践例（保健医療・看護等に関する啓蒙活動の実践，職員の現職教育の実践，学生の実習指導など）
 - ・学部，大学院で担当している講義等の科目名とその年間担当時間数（例 大学院博士前期課程：〇〇学〇〇時間）
 - ・学部学生の卒業研究を指導した学生数（過去3年間） 例：平成〇〇年 2名，令和〇〇年 1名，令和〇〇年 2名
 - ・博士前期（修士）課程，博士後期（博士）課程の主として研究指導した学生数（過去3年間） 例：平成〇〇年 2名，令和〇〇年 1名，令和〇〇年 2名
- (2)「職務上の実績に関する事項」のその他の特記事項欄には，次の項目を記入すること。
- ・企業内教育，大学公開講座，社会教育講座の講師としての活動
 - ・学内委員会委員，学部内委員会委員としての活動
 - ・症例研究会での発表等の活動